

# 内部質保証システムの 有効性を高めるために

—外部評価の経験から—



# 自己点検・評価と内部質保証は どう違うのか(私見)

自己点検(Self-study)とは

- 数量的な基準による評価の限界から考えられたシステム
- 1930年代 アメリカのアクレディテーション団体が考案
- アクレディテーション機関の評価を受けるためのプロセス



# 自己点検・評価と内部質保証は どう違うのか(私見)

## 内部質保証

- 「質の文化」が背景(ヨーロッパ型)
- 「規制」日本型(設置認可)や「〇×」アメリカ型(アクレディテーション)とは異なる



外部評価のプロセスとしての  
「自己点検・評価」



自らの質を良くするための  
「内部質保証」

**意識改革！**



# 内部質保証を 現在の自己評価活動から考える

- **執行部が中長期を見据えた方針を立てること(お飾りではない)**
- **自己点検・評価**  
どういう組織単位でどの程度の間隔で行うのか
- **外部評価**  
何のために行うのか
- **FD活動**  
本当に有効なFD活動とは何か



# 内部質保証を 現在の自己評価活動から考える

## ➤ データの活用

IR的機能は誰が安定的に担うのか

## ➤ 事務職員の強化

大学をめぐる状況の把握

## ➤ 大学と部局、部局と個別教職員 をつなぐ役割

内部質保証では不可欠

